



多可町子育てふれあいセンター

2019年

2月

# にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。  
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたいと思います。  
ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来てくださいね。



## 自由利用について

月～金曜・土（月2回）午前9時～午後3時

★自由に遊び来てくださいね。



## 活動あれこれ



「おとほなサークル」1月9日・24日

「さるかに合戦」練習中！！



独楽回し・がりがりトンぼ・お手玉・福笑い・竹馬の5カ所  
交流しながら、いろいろな遊びを楽しみました。

## 門田の方との交流

「親子あそび・お正月あそび」1月17日



人形操作5名・音楽、効果音4名で  
新作“昔話”の練習に入りました。  
2月8日金・みどりこども園  
3月1日金・キッズランドかみ  
3月6日水・キッズランドやちよ

うた、手遊び、おはぎ作り、すごろくゲームなど、おじいちゃん  
おばあちゃんといっぱい遊びました。  
「かわいいのー」「こんな小さい子久しぶりやー」  
笑顔いっぱい!! ふれあいいっぱい!! 愛情いっぱい!!



子育ての不安や悩みなど、  
気軽に相談くださいね。  
遊びの時でもOKです。  
…面談希望の方は、申し込みを…



## 家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを  
取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあら  
ゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

☆多可町子育てふれあいセンター

＜Email＞[kosodate@town.taka.lg.jp](mailto:kosodate@town.taka.lg.jp)

〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353

＜TEL/FAX＞(0795) 37-2525



★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 <b>自由開放</b> 子育てふれあいセンター
3	4 ・おやこ活動 (H30) 旧中町幼稚園 ・食育C ・おとはなC 子育てふれあいセンター	5 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	6 ・おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園	7 ★親子あそび 旧中町幼稚園	8 ・おとはなC みどりこども園	9
10	11 建国記念の日	12 ★学習会 アスナル	13	14 ・おやこ活動 (H29) 交流会館	15 ・にこにこ教室 (H24~27) 加美プラザ	16 <b>自由開放</b> 子育てふれあいセンター
17	18 ・おやこ活動 (H30) 旧中町幼稚園 ・ぼかぼかC 子育てふれあいセンター	19 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	20 おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園	21	22 ・にこにこ教室 (H24~27) 子育てふれあいセンター	23
24	25 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	26 ★婦人会との交流 アスナル	27 ・おやこ活動 (H29) 旧中町幼稚園	28 ★いきいき広場 旧中町幼稚園		

★「年度別おやこ活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ぼかぼかたより』をご覧ください。



保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。



**★親子あそび**・・・誰でも参加できます。申込不要  
と き：2月7日(木) 10:00~11:30  
と ころ：旧中町幼稚園  
内 容：「節分あそび」  
＊年中行事をいっしょに楽しみましょう。

**★婦人会との交流**・・・申込必要  
＊定員・・・先着 20 組  
と き：2月26日(火) 10:00~12:30  
と ころ：アスナル  
内 容：「はーとふる交流会」

＊婦人会のみなさんといっぱい遊んだり、お話ししたりして、交流しましょう。

その後は、昼食をみんなで、いただきます。

持ち物：お茶 参加費：無料

**★学習会**・・・申込必要 **託児あり**  
と き：2月12日(火) 10:00~11:30  
と ころ：アスナル  
内 容：「子どもの健康」  
講 師：桑村安佳美さん(保健師)・岩本亜紀さん(栄養士)  
持ち物：お茶

＊子どもの健やかな育ちのために大切なことを教えていただきます。また、日頃気になっているようなことも気軽に聞くことができます。ぜひ、ご参加ください。

## 赤ちゃん広場

と き：2月25日(月)  
と ころ：子育てふれあいセンター  
10:00~10:30 身体測定  
10:30~11:00 スキンシップあそび  
情報交換  
11:00~ フリートーク

申込不要

＊誰でも参加できます。気軽にお越しください。

**★いきいき広場**・・・自由に遊びに来てね！申込不要  
「旧中町幼稚園で遊ぼう！」

と き：2月28日(木) 10:00~11:30  
と ころ：旧中町幼稚園

遊戯室や園庭で自由に遊べる日です。  
それぞれの親子のペースでゆったりと楽しい時間を過ごしましょう。



牛乳パックの製作が  
終了しました。  
たくさんのご協力あり  
がとうございました。



# ときには子どもの育ちを 長い目で見てみる



## 「ちいさなあなたへ」

作：アリスン・マギー  
絵：ピーター・レイノルズ  
訳：なかがわ ちひろ  
出版社：主婦の友社

夜泣きにおっぱいにおむつ替え…慣れない育児に手いっぱいの日々。歩きはじめる頃には目が離せないし、イヤイヤ期につきあうのもひと苦労。ああいつになったらラクになるの？なんて考えるとき、ありますよね。「いまだけだよ」「あっという間だよ」という言葉も、気休めにしか聞こえない…。そんないっぱいはいっぱいのときには、ほんの数分手を休めて、この絵本を開いてみて。子どもを授かったときのよろこび、日に日に成長するよろこび、そして、やがて訪れる別れのとき…。親子の暮らしを長い目で見てみると、いまのこの一瞬が、よりいとおしく感じられるかもしれません。

これから何度となく訪れるであろう「旅立ち」のときに、笑顔で一步步子離れできる親でありたいもの。そのためにも、いまこのときを精いっぱい、子どもと一緒にたのしみたいですね。

「クーヨン 2019.2」より

## 2月に読みたい絵本



## おしくらまんじゅう

作・絵：かがくい ひろし  
出版社：ブロンズ新社

主人公は、紅白まんじゅう！  
いたずら紅白まんじゅうが、あんな子からこんな子まで、おしくらまんじゅう。  
こんにやく、なつとう、ゆうれいまで登場！！  
おされたみんなはどうなる～？！ページをひらいて ひゃあ びっくり！  
登場する愉快的なキャラクターや、予想外の展開に家族みんなで大笑い



## しんせつなともだち

作：方 軼羣（ふあんにーちゅん）  
絵：村山 知義  
訳：君島 久子  
出版社：福音館書店

食べ物のない冬、雪に中で2つのかぶを見つけた子うさぎ。  
1つはすぐに食べ、もう1つは自分のために置いておくのではなく、友だちの所へ持って行ってあげます。  
自分と同じように友だちもきつと寒さに震え、お腹をすかせているだろうと心配して、雪の中かぶを届けに行くんですね。他の動物たちも同じ気持ちで同じことを…。他人を思いやるやさしさにあふれたお話です。

# 感情豊かに育つために

「喜びというのは友だちと分かち合うと2倍になります。悲しみというのは友だちと分かち合うと半分になります。」というドイツのことわざがあります。

このような友だちを持つことができれば、人生は豊かなものになるでしょう。このような友だちとの間には共感し合える人間関係ができています。

友人との関係だけでなく、夫婦の間でも、親子の関係でも共感し合える人間関係が築かれていると、その人は豊かな人生を送ることができるのではないのでしょうか。

共感的な人間関係とは、単に相手の立場を理解するだけでなく、立場の異なる人どうしが相手を理解したり、何らかの手助けをしたりしたときに、その背景にありがとうという感情がある、人と人との関係ではないかと思います。

人と共感し合える人は、そういう感情が豊かに育っている人で、喜びと悲しみの感情をしっかり持っているように思います。

相手の喜びを自分の喜びとしてあげられる、相手の悲しみを悲しんであげられる、自分の喜びをいっしょに喜んでくれる人を持ち、自分の悲しみをわが事のように受け止めてもらえる人に恵まれている、そんな人との関係を持ちえる人が、人と共感し合えるのです。

喜びと悲しみの感情は、非常に重要で背中合わせのものであり、その感情を失っていくと知らだちとか怒りの感情が強くなってきて、人との共感的な関係を築くことが難しくなるのです。

子どもに豊かな感情が育つためには、人と喜びや悲しみを分かち合う経験をたくさんすることです。その経験の数だけ、感情が豊かになり、コミュニケーションの力が発達します。

子どもを感情豊かな子にするために特別な方法はありませんし、やらなければならないことなんかありません。

必要なことは、子どもが喜ぶことを喜んでしてあげることです。なにかをしてあげたときに、子どもが喜んでいるのを見て、私もうれしい、楽しいという気持ちを持ちながら育児をすることです。そうすれば赤ちゃんは人と喜びを分かち合える経験を持つことができるのです。

簡単なことでいいのです。絵本を読んであげるのもいいでしょう。赤ちゃんを抱っこして、ブランコにいっしょに乗ってあげるのも楽しいでしょう。お風呂に入ったときに、体を洗ったあと、ほんの数分でも水鉄砲かなんかで遊んであげるのもいいでしょう。

ともかく、なにかをしてあげたときに、子どもが喜んでいるかどうかをよく見ていてあげて、子どもが喜んでいるときには、自分も心から楽しいという気持ちになってあげることです。

幼児のころから、喜びを分かち合える経験をたくさんしてきた子は、少し大きくなったときには、友だちとも喜びを分かち合えるようになります。いっしょに遊んでいて友だちが楽しそうだと自分もいっしょに楽しんで、楽しさが倍になるようになります。

そのうち、大切なことは喜びだけでなく、友だちの悲しさにも共感できるようになり、いっしょに悲しんであげられるようになるのです。そして、心豊かな共感性の高い成熟した人間へと成長していくことになります。

『佐々木正美先生といっしょ お母さんの安心子育て』より  
著：佐々木正美（ばるす出版）